

受験番号

受験番号

令和4年度
国語

問題一

令和4年度
国語解答紙

文・教法・医(保健学科看護学専攻)
(四枚のうち、その一)

一

問一

| | |
|------|---|
| 巧拙 | ㉗ |
| 渴望 | ㉘ |
| 示唆 | ㉙ |
| 惜 | ㉚ |
| 暇(隙) | ㉛ |

問二

旗

問三

筆者の考える対話とは異なる価値観や見解を持つ他者と意見と摺りあわせ歩み寄り、自らの意見を変えることを潔しとするあり方である。しかし対話篇においては、インフラテスでさえ、そうした対話を求めるもの、多くが一方的に自説と主張し、同意を求め、問答形式となり対話にはなり得ていないから。

問四

イ

問五

開かれた対話が可能になるには、異なる価値観や見解を持つ第三者も含めた人々が対等な意識と独立性を保ったまま、相手の価値観や見解の相違を尊重し共存する中で、互いがみ寄る地点を勇まげ探り求めるといふ対話の精神を持つことが必要。



受験番号

受験番号

令和4年度
国語

問題二

令和四年度
国語解答紙

文教・法・医(保健学科看護学専攻)
(四枚のうち、その二)

三

問六

A

ア

B

オ

問七

「私」の内面では、出来事に対して、感情が結ひつかず、あるいは遅れ
て発生するので、父の死という事件に対しても、それに伴うはずの悲
しみという、感情が結ひつかないままの、状態であるから。

問八

容貌の醜さや吃音に加え、父を失って金閣寺に徒弟として住み込みで働く
不安定な境遇にある「私」は、劣等感を抱えて対人関係においても、シャツ
の皴のように素直に自己と出せなかったが、人間の感情をより単純に
捉え、自身も素直に表現する鶴川を見て、醜さや吃音を持つ自分も鶴川の
ように円滑に人と交われる幸福な人生を送れるのではないかとこのこと。

受験番号

受験番号

令和4年度
国語

問題三

令和四年度 国語 解答紙

文・教・法・医（保健学科看護学専攻）
（四枚のうち、その三）

三

問九

珍しい風景を共に味わい悩みを明かせる親しい友もいない孤独な気持ち。

問十

都

問十一

③ この八橋もかつて『伊勢物語』に詠まれた姿ではなくなったのだろうか

⑤ 絵に描きたいほど趣深く思われる

問十二

自発の助動詞「らる」の已然形

問十三

業平が都から遠く離れた旅のつらさを嘆いたのも都に恋しい妻がいたゆえだ
と思うにつけ、失恋した我が身とは対照的だと自嘲され滑稽に感じたから。

受験番号

受験番号

令和4年度
国語

問題四

令和四年度 国語 解答紙

文・教・法・医(保健学科看護学専攻)
(四枚のうち、その四)

四

問十四

儒の道は以て天下を喪ふに足る

問十五

四

問十六

ウ

問十七

(1) 上に立つ為政者が儒の道を行ふと必ず政務を怠るようになる。下々の庶民が儒の道を行ふと必ず自分の仕事をしなくなる。

(2) 儒の道は葬儀を手厚くして服喪期間を長くとり、弦歌鼓舞を大切なものとみなし、貧富や寿命や国の治乱など全ての物事は天の定めと考えて人力を尽くさうとしないから。

